

教育委員会会議録（9月定例会）

日 時

令和5年9月28日（木）
午後1時30分から午後2時15分まで

場 所

日立市役所 304・305号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	小野 智久

委員以外の出席者

教育部長	宮内 雅弘
理事	窪田 康德
総務課長	片山 晃
総務課課長	高橋美奈子
学校施設課長	高瀬 稔
学務課長	芳賀 友博
学務課課長	酒地 康彦
学校再編課長	渡邊 鏡子
生涯学習課長	齋藤 広美
スポーツ振興課係長	菊池 弘史
指導課長	多田 賢一
指導課課長	佐川 正城
記念図書館長	鈴木 弘嗣
郷土博物館長	島崎 信彦
北部学校給食共同調理場長	根田 容子
教育研究所長	横山 宏栄
子ども施設課長	武藤さとみ
総務課庶務係長	塙 智光
総務課主幹	澤田 貴子
総務課主事	佐藤 友香

議 事

報 告

報告第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

議 案

議案第 4 5 号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の作成について

議案第 4 6 号 専決処分について(令和 5 年度教育委員会 9 月補正予算の提案について)

その他

- (1) 令和 5 年第 3 回市議会定例会について
- (2) 令和 6 年度日立市立幼稚園等の園児募集について

会議の概要

1 開 会

教 育 長 ただ今から、教育委員会 9 月定例会を開会します。

 本日は、傍聴希望者はありません。

2 報 告

報 告 第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

 教 育 長 まず、報告第 9 号について、御意見等はありませんか。

 全 委 員 特にありません。

 教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 4 5 号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の作成について

 教 育 長 続いて、議事に移ります。
 議案第 4 5 号について、総務課長から説明をお願いします。

 総 務 課 長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書を、議会に提出、公表するため、作成するものです。

 3 人の点検評価委員からの外部評価について、御説明いたします。なお、御意見を頂くに当たりましては、事務局からの内部評価の説明及び点検評価委員と教育長との意見交換を経ております。

 まずは、「確かな学力の育成」です。点検評価委員から、道德教育に関しては、「子どもたちの道德性を養うため、ICT機器の活用という視点で、授業の在り方の模索を期待する」、その一方、「道德の授業は、教師の的確な発問、応答、気配りや賞賛など、人と人とのコミュニケーションの中で、人間性豊かな子どもを育てる道德の在り方ということも大切にしてほしい」、また、外国語指導助手に関しては、「活用法として、会話の充実をすることにより、伝わるという楽しさを学べると、苦手意識も少しは軽減されるのではないか」など、御意見を頂きました。

「教育環境の向上」では、学校、地域、家庭との連携について、「協議や研修会を実施し、理解を深められたこと」には一定の評価を頂きました。そして「小さなことからいいので、多くの方を巻き込む前向きな施策を継続してお願いしたい。現代に合わせた本来の意味でのPTAの模索を更に進められるよう、支援いただきたい」などの御意見を頂きました。

「放課後や休日の活動環境の充実」では、放課後子ども教室の推進に関して、「19校で実施し、子どもたちが様々な体験等を行う機会の拡充を果たせたことは大変喜ばしい」との評価を、また、「私たち大好きパスポート利用増加を目的として、市内公共施設への参加促進のためのイベント企画など、関係機関との連携強化に努めてはどうか」との御意見を頂きました。

「文化財の活用」では、「魅力ある郷土博物館の運営や、本市固有の文化財の活用等に向けた取組に期待したい。その際に、入場者数等の数値目標だけでなく施設利用の満足度・充実度といった視点を大事にしてほしい」といった御意見を頂きました。

「スポーツの振興」では、「部活動の地域移行や学校再編計画を踏まえて、地域バランスに配慮しながら必要な施設整備を図っていくことが要求される。今後はより一層地域の声に耳を傾けながら取り組む必要がある」などの御意見を頂きました。

「未来を拓く力を育む学校教育」では、教育環境の充実として、「特別に配慮が必要な子どもたちへの支援だけではなく、外国人児童生徒に対応する支援もますます必要となっていく。日立で育つ子どもたちには皆平等な支援をお願いしたい」などの御意見を頂きました。

「生きがいや喜びを見出す生涯学習」では、職業探検少年団に関して、「興味のある親子だけの参加になってしまいがちであり、ひたらしい職業を残していくためにも、地域の持続的な向上のためにも、指導者側が学校に出向いたりすることについて、検討してほしい」との御意見がございました。

「健康と活力を生み出すスポーツ」では、「代表的スポーツを池の川アリーナで実施できることは、プロを身近で感じられる大変貴重なイベントであるので、引き続き、試合誘致の機会創出の継続・拡大をお願いしたい」などの御意見を頂きました。

続いて、報告書全体に対する御意見です。

まず、星委員からは、「市内の小中学校の授業を参観する機会があった。小学校では電子黒板に映し出された課題、図形、質問などを子どもたちが真剣な眼差しで見つめ、教師の淀みない発問が続く活気にあふれた授業であった。これからICTがどのように活用されていくか楽しみである」、また、「子どもたちを取り巻く状況の変化は、同時に教育関係者の柔軟な発想や強い実行力が必要とされる。新たな視点で見つめ強い気持ちで実践していく姿勢は、ますま

す大事になる」との御意見を頂きました。

次に、小野瀬委員からは、「学校と地域をつなぐ地域コーディネーターの育成及び支援が重要で、この機会に地域と学校が一体となって連携していくことが大事である」、また、「このような時代でも、将来を担う人材である日立市で育つ子どもたちには、生活や教育格差がなくなっていくように願わずにはいられない」との御意見を頂きました。

最後に、福地委員からは、「グローバル化が急速に進む中で英語教育、ICTスキルの習得は必須となっている。学校だけでなく異文化と接する機会を増やし、楽しみながら文化の違いを理解する場を提供していただきたい」、また、「教員が子どもたちに向き合う時間を多く作れるように、業務の効率化、人員の補助を早急にお願いしたい」との御意見を頂きました。

今回、点検評価委員から頂きました御意見を踏まえ、今後の事業にフィードバックしながら、引き続き、本市の教育行政の推進に努めていきたいと考えております。

委 員 内部評価も外部評価も、妥当な評価で、委員の意見の中には、共感する部分、そのとおりだということが多いです。今年も良かったと思います。

確かな学力の育成について、学校教育の中では、一番重要な部分の一つだろうと思います。やはり、きちんと学力を保証するということなのですが、本市の場合、特に、ここ数年重視しているのは、1時間完結型の授業で、ゴールから逆算して、指導過程を辿っていくということを重視してきたわけですが、まだ、課題の中にそのことが上がっているの、学校現場等の受け止め方に差があるのか、実態はどうかをお伺いしたいです。まだ定着していないということであるならば、今後、どのように対策を打ち出していくのかということもお伺いしたいです。

また、委員が地域と学校の連携の大切さについて、述べられていて、本当に同感です。理念としては分かるのですが、具体的にはどういうことがあるのか、どのような連携をしていったら良いのか、考えていることがあれば、お伺いしたいです。地域コーディネーターを中心として、地域ボランティアが取組をやっていくことになると思うのですが、先生方に負担は掛けられないので、もし、具体的にアイデアがあれば、お伺いしたいです。

指 導 課 長 確かな学力の育成について、ここ数年、1時間完結型授業、ゴールから考える授業づくりというキーワードで、学校に指導してまいりました。学校では、指導案にもそういうキーワードが入っているなど、ある程度定着しているのではないかと考えているのですが、2点ほど、課題がありますので、記載しております。

まず、若手教員が増えており、市内には毎年40人ずつ新規採用の先生が入り、3年たつと、約1,000人の先生方のうち1割は若手の先生方になってきますので、継続して、これからも指導していきたいと考えております。

また、タブレットや電子黒板、デジタル教科書など、ICT機器を使った授業づくりは、1時間完結型授業の中ではどういう形が良いのか、ゴールから考える授業づくりの中ではどういう形が良いのかということも含めて、継続して取り組んでいきたいと考えております。

委員 若手教員は異動があるので、他市から来た先生方には、なかなかすぐには浸透しないということなのでしょうか。

学校の中でも、研修会等の折に、日立市はそのような形で進んでいるということについて、教務主任、先生方からの指導を期待するしかないと思います。学校でしっかり受け止めて、学校の中でどれだけ実践できるか、機会を捉えて指導していただければと思います。更に期待をしていきたいと思っています。やはり、1時間の授業でしっかり狙いを達成することが学力につながっていくのだらうと思いますので、よろしくお願ひしたいと思っています。

生涯学習課長 生涯学習課では、地域コーディネーターの育成のために、研修会の開催などをして、人材育成に努めているところでございます。ただ、委員のおっしゃった具体的な内容については、学校、地域によって、いろいろな実情がございまして、それぞれの状況や地域の特色、地域らしさなどもあり、どこの地域も同じ内容ということは難しいと思います。今、まだ、地域コーディネーターの配置が決まっていない学校運営協議会などもございまして、指導主事などを派遣して指導しているところでございますので、地域らしさや学校の現状などを踏まえながら、今後、対応していきたいと思っております。

委員 やはり、それぞれの地域ならではのことがありますので、具体的なことはなかなか難しいのかもしれませんが、生涯学習課で進めているものをきちんとコーディネーターの方に理解していただいて、独自のいろいろなアイデアを出していただくということに期待するしかないでしょうか。

例えば、かつて、元気っ子体験村というのをやっていた名残のあるところがあるのですが、そういうものも一つの形なのではないかという気がします。それは、全員参加ではなく、参加できる子どもたちだけの活動になってしまいますが、そのようなことをもう少し具体的な形で示していただければと思います。いずれにしても、地域コーディネーターの方に対する啓発活動、指導をよろしくお願ひします。

委員 地域コーディネーターについて、質問させていただきます。

先日、市町村教育委員会の研究協議会という会議に参加させていただきました。グループディスカッションがあったのですが、コミュニティスクールを積極的に推進しているところは比較的少なく、様子を見ているようなところがありました。理由を聞くと、学校の評価までやるのかと心配されているところや、学校評議員制度等でもう十分なのではないかというところがありました。東京都北区や松戸市、藤沢市、宮崎市、松江市の方とそういった話をしてきたのですが、CSマイスターや県の方が指導してくれる制度等があるようなので、そういった研修が日立市でも行われてきているのか、具体的にどのような研修をやっているのか、お聞かせいただければと思います。

生涯学習課長 今年度、研修会を3回ほど連続で行うところなのですが、先生をお呼びしての講演会を開催する予定になっております。

教 育 長 今年度、お呼びしている先生は、まさにCSマイスターの方です。実際に自分で学校運営協議会を立ち上げて、地域学校教育活動もやっている方で、具体的な実践家でもあるので、良いお話が聞けるのではないかと思います。東京都三鷹市の方ですが、以前には、日高小学校の学校運営協議会委員も務められており、日立市でも、御活躍いただいているところでございます。

毎年、CSマイスターの方をお招きし、地域のコミュニティの代表や学校の代表の方を対象に、研修会を開催しているところでございます。

委 員 かつて、教育委員会で三鷹市に視察に行ったことがあります。玉川大学と三鷹市の小・中学校の連携が非常に先進的だということで、玉川大学の学生がボランティアで学校に入って、子どもたちとともにいろいろな活動をしたり、補助的に指導をしたり、教育実習もやっているようで、日立市も茨城キリスト教大学の教育実習を受け入れており、そういう形に近いことが行われていることから、視察に行きました。

また、数年前に、文科省の研修会で、三鷹市の学校と地域の連携についての発表があり、お話を伺う機会があったのですが、やはり、先進的にやっていて、地域の方が本当に積極的に動いて、T2など、学校の補助的な活動にもどんどん入っていっているというすばらしい取組をやっているということでした。なかなか理想的な姿であると感じました。日立市がどれだけそれに近づいていけるか、それをどれだけ真似できるかということとはなかなか難しいところがあるのではないかとはいいましたが、そういう姿を理想とするという

ことで、それが地域と学校の連携の一つの姿だろうと思っています。

教 育 長 それでは、議案第45号について、可決することによろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第45号については、原案可決と決しました。

議 案 第 4 6 号 専決処分について（令和5年度教育委員会9月補正予算の提案について）

教 育 長 次に、議案第46号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 令和5年度9月補正予算について、教育委員会を開催するいとまがなかったことから、9月27日付けで専決処分をしたものです。歳入歳出予算です。

歳入につきましては、1億8,646万6千円を増額し、補正後の額を21億150万8千円とするものです。

歳出につきましては、1億9,011万8千円を増額し、81億8,249万5千円とするものです。

9月補正予算の内訳について、歳入歳出予算です。

No.1、事業名等「緊急通学対策経費」、326万2千円の増額です。台風13号の影響により、通学に利用していた県道が通行止めになったことに伴い、児童・生徒の通学手段を確保するための経費です。内容は、県道日立山方線通行止めのため、中里小中学校スクールバスが常磐自動車道を経由するルートで運行するための経費、そして、県道十王里美線通行止めのため、高原地区の児童・生徒のうち、保護者による送迎が困難な世帯に対し、タクシーで送迎するための経費となります。

No.2、事業名等「小学校災害復旧事業費」、9,558万1千円は、被災した小学校の土地及び工作物の復旧工事等に要する経費です。内容は、河原子小学校の擁壁復旧、水木小学校の法面復旧及び山部小学校の法面復旧に要する詳細設計等及び工事に要するものです。

No.3、4は、その関連歳入として、国庫負担金4,116万6千円、市債5,420万円を計上しております。

No.5、事業名等「中学校災害復旧事業費」、1,942万2千円は、被災した平沢中学校の土地の復旧工事等に要する経費で、内容は、法面復旧に要する詳細設計及び工事に要するものです。

№. 6、7は、その関連歳入として、国庫負担金950万円、市債980万円を計上しております。

№. 8、事業名等「社会体育施設災害復旧事業費」、7, 185万3千円は、被災したスポーツ広場等の復旧工事による経費です。内容は、河原子北浜スポーツ広場の崖補修・四阿復旧、滑川市民広場のグラウンド及び駐車場復旧、高鈴少年広場のフェンス及び進入路復旧の工事に要するものです。

№. 9は、その関連歳入として、市債7, 180万円を計上しております。

地方債補正につきましては、それぞれの歳出予算の増額に合わせて、財源の確保を行うものです。

教 育 長 それでは、議案第46号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第46号については、原案可決と決しました。

4 そ の 他

(1) 令和5年第3回市議会定例会について

教 育 長 続いて、その他に移ります。
その他(1)について、御質問や御意見はございますか。

全 委 員 特にありません。

(2) 令和6年度日立市立幼稚園等の園児募集について

教 育 長 次に、その他(2)について、子ども施設課長から説明をお願いします。

子ども施設課長 初めに、来年4月の入園募集を行う市立幼稚園等についてですが、来年度は4園での募集となります。

募集人数は、4歳児につきましては、楡形幼稚園及び大沼幼稚園が30人、みやた認定こども園及びはなやま認定こども園が14人、5歳児につきましては、各園若干名の募集となります。

田尻幼稚園については、今年度、在園児が5歳児3人のみで、新入園児がおりませんでしたので、来年度の募集は行わず、休園とする予定でございます。

幼稚園におきましては、市立幼稚園、私立幼稚園ともに、少子化の進展及び保護者の働き方の変化に伴い、利用者が急激に減少し、供給過剰の状況となっております。そのため、2年連続で新入園児が10人未満となった市立幼稚園につきましては、整理統合を図っているところでございます。

その一方、保育園への入園希望者は増えております。保護者の就労などを理由とした保育ニーズは高まっており、この傾向は今後も続くものと考えております。

募集方法につきましては、今年度は10月3日から各園で入園願書を配布し、11月1日及び2日に入園を希望する園へ願書を提出していただくこととしております。

月額保育料につきましては、令和元年10月から実施されている幼児教育、保育の無償化により、無料となっております。

委員 園児を募集する幼稚園、認定こども園が4園ということで、本当に減ってきましたが、田尻幼稚園は休園ということによろしいのか、保育園、保育所が増えていくのは当然の流れではあるのですが、幼稚園、認定こども園の今後の方向性について、考えていることがあれば、お聞きしたいです。

また、幼稚園職員の方々の行き場が心配なのですが、どのように考えているのか、お伺いできればと思っています。よろしくお願ひします。

子ども施設課長 今後の方向性でございますが、今のところ、田尻幼稚園は休園という形です。その後、廃園となる見込みです。

また、お勤めになっている先生方については、ほかの園に異動していただくか、例えば、市役所内で、配属できる課所があるかどうかを検討しまして、お辞めになっていただくことのないように、勤め先を確保したいと考えております。

(3) その他

教 育 長 そのほか、案件はありますか。

生涯学習課長 第23回青少年のための科学の祭典日立大会が、令和5年10月29日日曜日の午前9時30分から午後3時30分まで、日立シビックセンターにて開催されます。

青少年のための科学の祭典は、平成4年に、国の委託大会として、東京、大阪などから始まって、全国全ての都道府県を一巡し、茨城大会というものが平成12年に日立市で開催されました。県庁所在地の都市での開催が通常でしたが、茨城大会につきましては、工都

日立での開催となったということです。当時、2日間の会期中に1万8,000人ほどの方が来場され、この大会以降、県内各地で科学の祭典の自主大会の輪が広がって、今年度につきましては、日立市を含め、茨城県内では4か所で開催をするものでございます。

日立大会につきましては、令和2年度はwebで開催、3年度はコロナのために中止ということでしたが、昨年度は3,367人の来場がございまして、今回で23回目の開催となります。

内容に関しましては、自由に遊べる実験、工作などのコーナーが全部で50ブースほどあって、参加体験ができます。

ひたちkidsプログラミングコンテスト2023は、今回初めての企画になります。小学生対象のプログラミング部門と小・中学生対象のマイクロビット部門について、事前応募の作品から上位5人が大会当日に自ら作品のプレゼンテーションを行い、最終審査が実施されるものです。なお、プログラミング部門の最優秀作品に輝いた方は、全国大会、上位大会である小学生のコンテスト、Tech Kids Grand Prix 2023の関東エリア予選3次審査に無条件で進出することができるものです。

また、令和元年から、毎年、実施してきているのですが、科学研究作品展は、小・中学生が夏休みの自由研究作品のうち、日立市科学研究作品展で金賞や銀賞に入賞した作品を展示し、ミニプレゼンテーションなどを行うものです。

是非、御来場いただければと思います。

記念図書館長

10月29日に開催いたします文学教養講座について、御説明いたします。

文学教養講座は、10月27日から11月9日の読書週間に合わせまして、読書への関心を高め、図書館の利用促進を目的としまして、日立市出身の作家等を講師としてお招きし、令和元年度から開催しているものでございます。

昨年は、十王町出身の児童文学作家、佐々木ひとみさんをお招きし、開催いたしました。

第5回である今年は、小木津町出身の薬膳料理家、宮澤孝子さんを講師にお招きし、「母が紡ぐ和の薬膳～郷土料理は次世代へ繋ぐ宝物～」をテーマに御講演いただきます。

御自身の生い立ちから薬膳料理家になるまでの半生、料理のレシピを記した著書「母が紡ぐ和の薬膳」に込めた思い、そして、2022年にグルマン世界料理本大賞自然食部門で2位を受賞するまでのこと、さらに、子どもたちに伝えたいことなどを中心にお話しいただきます。

日時と場所は、10月29日日曜日、午後2時から3時30分まで、多賀図書館4階の大ホールで開催いたします。

定員は、先着50人で、市報9月20日号に掲載しまして、本日、

9月28日から受付を開始しております。なお、本日の午前中には、10人ほどの申込みがあったところです。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和5年10月26日（木）午後1時30分から、日立市役所3階304・305号会議室で開催予定です。

6 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会9月定例会を終了いたします。

以 上